

# JR東海労なごや

2022年5月 3日 No. 1199  
JR東海 労名古屋地方本部  
発行者： 荻野 隆一  
編集者： 教 宣 部

## 負担を強いる出場報告反対！！

運輸区職場において、携帯用タブレットや車携機を用いた出場状況把握機能による乗務員からの出場報告が本使用になって1か月が経過しました。報告が遅れ運輸区から電話が入ることも多く発生しています。乗務員からすれば新たな仕事が追加され負担を強いられているのが現状です。

### 試使用期間での会社との折衝

名古屋地本はこの問題に対して昨年に静岡地本と合同会議を行い問題を議論し、2件の申し入れを行い業務委員会を開催してきました。この中でノーペイ後の1分で報告するようになっていましたがシステム的に不可能であることが確認されました。その後、会社はノーペイ後の2分で扱うように指示してきました。早め出場の3分を2分にするにより帳尻を合わせました。組合は経営協議会の中で「なぜ早め出場の時間が2分になったのかの説明もない。3分前に出場していないことで勤務評価された事象もある。つじつま合わせで労働時間を管理するな」と強く主張しました。また、「ノーペイが1分でも発生すれば報告しなくてはいけない。本当に必要なのか」の議論も行いました。会社はこのシステムを使えば年間発生する出場遅延(去年は36件)の半数を防ぐことができると言っています。また、経協では「出場報告を行わなかったことに対しては、業務指示違反であり勤務評価される」と話しています。

### 私たちは訴えます！

新たな勤務評価の事象となるシステム導入反対！  
時間を守ることが大切と言いつつ、つじつま合わせをするな！  
30分以内のノーペイでは報告を強いるな！  
出場するに当たって確認する時刻が倍になり、リズムが崩れミスを誘発する！  
いくつもの時刻を確認する疲れにより新たなミスを誘発する！

## 乗務員の負担になる出場報告反対！